

5 農業振興活動

地域農業の現状を見つめ「食の安全・安心、環境保全」を基本に、農業の振興に努めています。

1 農業関係の持続的な取り組み

- 農業所得に直接影響のある主食用米の買取販売の拡大に取り組むと共に、担い手の経営面積の維持拡大を図るべく、高収量、高品質、良食味の米生産のための提案を行いました。
- 売れる米づくりを基本として管内で生産される米について食味検査を実施し、生産圃場の土壌診断を実施しました。また、検査結果から改善策を提案し、高収量、高品質、良食味を目指した取り組みを行いました。
- 生産資材等購買事業の改革を進める中、生産資材価格の引き下げと低コスト生産技術の確立・普及に取り組ましました。
- 職員向け時期別営農研修会を開催し、水稻生育ステージ別の肥料農業を中心に商品研修を行い、経済部職員の資質向上を図りました。
- 6次化商品の開発を通して売上増加を図り、農業所得の増加に寄与する取り組みを開始しました。

2 地域密着型金融への取り組み

- 農業関連資金融資の取扱い
 - ・ 制度資金(農業近代化資金、農林漁業金融公庫資金、就農支援資金など)、アグリサポート資金、プロパー資金(一般資金)合わせて、約17,700万円のご利用をいただいております。

3 農業者等の経営改善及び地域の活性化のための取り組み状況

- 事業を営む経営者を中心とした当組合の各地区経済団体は、新時代に対応する人材の育成と、経営管理の技能を高めるために相互の研鑽と親睦を通して、事業の発展をめざし、活力ある地域社会の進展に寄与することを目的として活動しています。
- 行政等と連携し瑞浪市と多治見市の農産物等直売所の運営協力、また、新規就農者の育成と直売所出荷者の指導・育成を目的として「野菜づくり塾」に取り組んでいます。

4 食農教育に関する取り組み

当JAでは、地域の未来を担う子どもたちに対し、食を支える農業の役割、農業と生活・社会との関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための「食農教育」を、関係機関や地元の農家の皆さんと協力しながら実施しています。おもに「体験すること」に主眼をおき、楽しみながら食と農について学んでもらえるよう、いろいろなプログラムで実践しています。

- 管内3市(多治見・土岐・瑞浪)の全小学校(28校)に対し、毎年寄贈(1,800冊)しています子ども向け農業雑誌「ちゃぐりん」は、今年で19年目となりました。授業や読書を通じて日本の農業について触れる機会を提供しています。
- 「JAバンク食農教育応援事業」により、本年度も「食」と「農業」、「環境」と「農業」の密接なかわり、さらに「食」の安定供給のための流通や品種・産地の学習などをテーマとした小学校補助教材を多治見市・土岐市・瑞浪市の全小学校(28校)に児童用・教員用2種類合わせて約2,500冊贈呈しました。この教材による学習を通じて、次世代を担う子どもたちが、農業生産や農産物流通の現状、食品の価格形成のしくみ、農山村や里山がはたす環境保全など、農業に対する理解を深めていくことを願っています。
- 小学生を対象に希望校に対し田植え教室・バケツ稲作り教室・稲刈り教室・まめなかな運動を実施、米づくりや大豆栽培に興味と理解を深めてもらい食農の大切さを子どもたちに伝えています。

田 植 え 教 室



野 菜 苗 植 え 体 験



稲刈り教室



サツマイモ掘り体験教室



食農教育授業



5 各種農業関連イベント

各地区農業祭・朝市など



6 レジャー農園(貸し農園)への取り組み

レジャー農園

遊休農地の活用とセカンドライフの楽しみを併わせもつレジャー農園事業

- 多治見市内に606アール、73ヶ所、621区画、327名の方にご利用いただいています。



7 「野菜づくり塾」への取り組み

- 当JAでは、行政や関係機関と協力し、地域農業の振興をはかるため、瑞浪市と多治見市に「野菜づくり塾」を開講し、新規就農者の育成や自家消費農家から販売出荷農家への転換指導などに取り組んでいます。講座は座学と実技を行い、栽培方法や肥料農薬の使用方法などを基本から学びます。

